



# 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

## 2024年1月号ブリテン

通算第148号 2024. 1. 26



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

### 2022—2023年度 主 題 (Theme)

国際会長: (IP) ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) 「輝かそう、あなたの光を」  
アジア太平洋地域会長: (A・P) 利根川恵子(川越クラブ) 「変革のための光となろう」  
東日本区理事: (RD) 山田公平(宇都宮クラブ) 「未来のために今、学びと気づきを!」  
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う!  
北東部長: 大久保 知宏(宇都宮) 「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」  
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「震災とコロナを乗り越えた力でワイズとYMCAの協働を進めよう」

### 今月の聖句

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らしあなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けてあなたに平安を賜るように。

民数記6章24—26節

加藤 雄一

## 巻頭言

### 『駅伝考』

佐藤 剛

毎年冬から春にかけてかけて多くの駅伝(駅伝競走大会の略)があり、国民的人気がある。今年も大きな地震・航空機事故が続いたにもかかわらず、テレビ視聴率は良かったようである。我がクラブにも「駅伝通」がおり、その方々のご意見をもとに考えてみた。今年の「箱根駅伝」は「イマイチどきどきせず楽しなかった」とのことである。優勝できそうな強力チームは限られてきており、概ね前評判とおりに決着するのがなんとなく「楽しくない・・・」。その理由は、高校の優秀なランナーは進学するチームが限られてきており、出場できるチームも少なく、シードチームは予選会なしという恩典も影響しているため、来年の大会に向けたシード権争いの方が興味深い。それに比べ実業団主体の「ニューイヤー駅伝」は出場チームも箱根の倍、著名な企業チームだけでなく、各地区ブロック予選を突破した地方の企業も出場しているので、オリンピック候補選手との地方選手との競演も面白い・・・。

そこで、箱根駅伝も出場チームを倍にして全国から出場。全チームに予選会出場を義務付ける。コースは箱根にかかわらずに東海道の平地往復に変更する。

ニューイヤー駅伝も平地7区間で実施しているので可能ではないか。

これならば、優秀なランナーも特定チームに集中せず日本長距離界の強化発展につながる。初夢で終わらないことを願う。

2023～2024 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	メネット副会長	加藤 真紀子	ユース	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	地域奉仕CS	阿部 松男	YMCAサービス	門脇 秀知
書 記	多田 修	地域奉仕CS	佐藤 健吾	YMCAサービス	佐藤 善人
書記補佐	増山 和憲	会員増強EMC	加藤 研	ブリテン	増山 和憲
会 計	多田 修	会員増強EMC	清水川 洋	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	DBC	菅野 健	ドライバー	増山 和憲
監 査	加藤 雄一	DBC	村井 伸夫	担当主事	増山 和憲
メネット会長	多田 純子	ユース	佐藤 剛		

1月第1・第2合同例会 強調月間：IBC/DBC							
在籍者	12名	出席者	5名	メイキャップ	0名	出席率	41%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	5,000円		

**◆仙台広瀬川ワイズ 1月第1・第2合同例会◆**

日 時：1月18日（水）18：45～  
場 所：仙台YMCA立町会館  
参加者：加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、加藤メネット、佐藤 剛メン、多田メネット、増山

皆様、新年明けましておめでとうございます。  
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

元日に発生した能登半島地震により、被災した皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
2024年最初の例会は、会長挨拶とお祈りの中で、被災した皆様に思いをよせて例会が始まりました。

主な、協議事項は今後の仙台広瀬川ワイズメンズクラブの会長選出と運営について協議を行いました。菅野会長からは、「広瀬川ワイズメンズクラブ例会への出席率などを考えると今後の運営は困難な状況にある。次期会長の選出は、ワイズメンの皆様から広瀬川クラブ運営への意見を聞いたうえで選出していく」との事でした。

なお、2月21日（水）に予定している2月第1例会までには、広瀬川ワイズメンズクラブの皆様からのご意見を確認できるように進めていくことになった。

連絡・報告からは、1月14日（日）に行われた、能登半島地震支援に繋がる街頭募金について報告しました。約100名の方が街頭に立ち、339,166円の募金となりました。また、1.5避難所のアドバイザースタッフとして、1月20日（土）～31日（水）まで仙台YMCAから、健康教育事業部の堀越を派遣することを報告しました。

閉会挨拶では、加藤研メンより、絵本についての話があり、善いことをした時に、物としての見返りが自分に戻ってくるのではなく、困った人に手を差し伸べることが幸せに繋がるという話があり閉会となりました。

## ピンクシャツデー

「ピンクシャツデー」は2007年、カナダの2人の学生から始まったいじめ反対運動です。

日本のYMCAはこれに賛同し、毎年2月の最終水曜日に全国各地でイベントを実施。教職員や子どもたちがピンク色の服や小物を身に付けていじめ反対をアピールするほか、いじめに関する授業を行うなど、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。

**2024年のピンクシャツデーは、2月28日（水）**です。YMCAは今年も「いじめは一人で解決できないから」をモットーに2月、それぞれの立場で工夫をこらし、アクションを起こします。2022年度のいじめは過去最多の68万件と報じられる中、つらい日々を送っている子どもたちに寄り添う活動ができるよう目指します。



2月に入ると、仙台YMCAでも各施設や部門で『ピンクシャツデー』へのアクションを行っていきます。立町会館の施設も、ピンク色に染まっていくような気配がします。毎日がピンクシャツデーです。この意識は忘れずに1日1日を大切にしていきたいです。広瀬川ワイズでは、ピンクシャツデーに賛同し、2月の例会では、ピンクの物を身に着けます。

## 今後の予定

- ◆2月7日（水）  
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会 18:45～
- ◆2月11日（日）  
仙台YMCA全体研修
- ◆2月21日（水）  
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会 18:45～
- ◆2月28日（水）  
ピンクシャツデー

## 仙台YMCA通信

- ◆能登半島地震で被災された方を支援するためにYMCA緊急支援募金を行っています。期間は、2024年1月14日～3月31日です。
- ◆能登半島地震に伴う、1.5避難所のアドバイザースタッフとして、健康教育事業部の堀越祥浩が1月20日（土）～1月31日（水）まで『いしかわ総合スポーツセンター』に派遣され、避難所の運営サポートをいたします。
- ◆2月11日（日）の仙台YMCA研修会では、「みつかる、つながる、よくなっていくYMCAと私となるために」をテーマに行われます。

### 【編集後記】

皆様。新年明けましておめでとうございます。2024年の始まりは、能登半島地震や飛行機事故など、悲惨な出来事が重なりました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。私たちは被災された皆様に、祈りを捧げることしか出来ませんが、1日でも早い復旧と復興を心から願っています。

【K・M】